

1. 学校のトピックス

1.1 学生活動

1.1.1 第4回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)を受賞

2月17日(金), 詫間キャンパスのプロコンチームが, 第4回ものづくり日本大賞において内閣総理大臣賞を受賞し, 総理官邸で, 野田総理から表彰状とメダルを授与されました。

今回受賞したのは, 平成22年度, 全国高等専門学校第21回プログラミングコンテスト(自由部門)で最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞した「MINAMO STYLE-水面流-」の開発メンバーで, 情報5年の安藤英里さん, 合田貴博君, 佐野純一君, 情報4年の北原康佑君, 十鳥恭平君の5名です。

ものづくり日本大賞とは, 「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち, 特に優秀と認められる人材を顕彰するもので, 経済産業省, 国土交通省, 厚生労働省, 文部科学省の4省庁が連携し, 2年に一度開催しています。同賞は第2回にロボコンチームが受賞して以来, 2回目の栄誉となり, 本校のものづくりに関する技術力が高く評価されたことは大変喜ばしいことです。

表彰式に先立ち訪れた高専機構竹橋オフィスでは, 今回の受賞により高等専門学校の名誉を高めた功績により, 林理事長より理事長特別表彰を授与されました。



図1 表彰式(総理官邸)



図2 理事長特別表彰



図3 文部科学省

1.1.2 第22回全国高専プログラミングコンテストで最優秀賞を受賞

12月22日(土), 23日(日), 舞鶴高専主管で「第22回全国高専プログラミングコンテスト」が開催されました。本校からは, 高松キャンパスから課題部門, 自由部門, 競技部門に, 詫間両キャンパスから競技部門にそれぞれ参加しました。

課題部門では「スマートアンブレラ」(矢野正人(AS2), 助安 涼(AS1), 米井裕紀(AS1), 田口拓明(5E), 長谷川雄太(5E) 指導教員: 重田和弘) が最優秀賞, 文部科学大臣賞, 情報処理学会若手奨励賞を受賞し, 自由部門では「iFarm -次世代農作業システム-」が敢闘賞を受賞しました。



図1 優勝記念集合写真



図2 スマートアンブレラ

1.1.3 アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト 2011 四国地区大会で優勝

10月23日(日),新居浜高専にて「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト 2011 四国地区大会」が開催されました。24回目となる2011年の競技課題は「ロボ・ボウル」。アメリカンフットボールをイメージした対戦ゲームとなる今年の課題では,2足歩行のオフense・ロボットが,学生から受け取ったボールを,ディフェンス・ロボットをかいくぐってチームメイトの学生に向けてノーバウンドでタッチダウンパス。パスが成功するまでのタイムを競う新しい形式の対戦競技です。素早さ,確実性,そしてプレッシャーに負けない精神力を要し,攻守共に一瞬で決着がつく試合は,終始緊迫した雰囲気の中で行われました。そんな緊張感の中ではありましたが,詫間キャンパスAチームは集中して試合に臨み,一つ一つ着実に決勝への駒を進めました。決勝戦では,準決勝で詫間キャンパスBチームを破った阿南高専Aチームと対戦。均衡した試合となりましたが,素早いオフenseでタッチダウンを奪った詫間キャンパスAチームが勝利し,全国大会出場の切符を手にし,詫間キャンパスの全国大会への出場は通算17回目,連続13回目(四国地区大会優勝は連続9回目)となりました。



図1 競技,表彰風景

1.1.4 全国高専ロボットコンテスト 2011 全国大会に出場

11月20日(日),東京両国国技館で開催された「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2011」全国大会に,詫間キャンパス TEAM ARK の「AGILITAS (アジリタス)」が出場しました。

四国地区優勝の「AGILITAS」はAブロックシード校となり,2回戦からの出場となりました。2回戦で1回戦を勝ち上がってきた北九州高専と対戦。ディフェンスでは初戦の緊張もあり,先攻の北九州高専に14秒でタッチダウンを許し,非常に大きな緊張の中でのオフenseとなりましたが,メンバーは落ち着いて攻め,相手チームと同記録の14秒でタッチダウンを奪い返しました。しかし,勝敗は審判による判定となり,残念ながら本校は2回戦敗退となりました。

全国大会への出場も連続13回目となり,メンバーにとっても非常に大きなプレッシャーのかかる試合でしたが,当日まで緻密な調整を繰り返し,練習を続けてきたメンバーは,悔しくも清々しい表情でした。



図1 競技風景

1.1.5 ソーラーカーレース鈴鹿 2011 で 5 位（総合 8 位）！

8月6日（土），鈴鹿サーキット（三重県）で開催された「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿 2011（国際格式）」において，機械システム研究部自動車部門が香川高専ソーラーカーTEAMとして参戦し，4時間の決勝レースにおいて36周を達成し，ENJOY-Iクラス5位，クラス総合8位の成績で，いずれも過去最高記録を収めました。

前日（5日）は雨天の中，車検とフリー走行が行われましたが，決勝では晴天の好条件となり参加した学生メンバー17名がドライバーとピットの通信や走行分析，メカニックなどのそれぞれの役割を着実に果たし，好成績を獲得しました。

また当日は，香川高専ソーラーカーTEAMを日頃から支援していただいている（株）石垣や保護者の方などが応援に駆けつけて来ていただきました。



図1 ドッグにて集合写真

1.1.6 第9回キャンパスベンチャーグランプリ四国で優秀賞を受賞

2月10日（金），日刊工業新聞社主催「第9回キャンパスベンチャーグランプリ四国」の最終審査会が高松市で開催されました。

同グランプリは，若い世代の起業を促そうと，四国経済連合会などで行う実行委員会が毎年開催。4県の大学・高専から64件の応募があり，書類選考を通過した8件が最終審査会でプレゼンテーションを行い，本校からビジネス部門に出場した「農作業支援システム -iFarm-」（細野啓太（5E），クリス（5E），井上健太（4M），山根佑樹（2EC），清水健作（2EM）指導教員：村上幸一）が優秀賞を受賞しました。

本システムはインターネット経由でデータ管理するクラウドを使い，農作物の栽培管理や原価管理を行うサービスを提案。農家が使いやすいよう入力作業を簡易化した上，既存サービスに比べ価格を抑えたのが特長で，農業振興に最新のIT技術を活用した点が高く評価されました。



図1 表彰者集合写真

1.1.7 寮生活動

(高松)

- 4月23日(土), 高松キャンパス清雲寮において娯楽担当委員を中心に, 1年生を歓迎する新入寮生歓迎会(旧寮祭)を開催しました。昼の部では各種競技やバザー出店が, 夜の部では新入寮生による出し物とビンゴ大会を行いました。新入寮生と先輩寮生は各イベントを通して, お互いに親睦を深めていました。当日はあいにくの雨ではありましたが, 時折晴間ものぞき, 心配された屋外イベントも開催することができました。新入寮生にとっては思い出に残る歓迎会となりました。
- 9月8日(木), 清雲寮において, 毎年恒例の焼肉大会を開催しました。焼肉大会に先立ち, 美化委員長と食事委員長を中心に寮内の清掃も行いました。寮生は, 副校長先生はじめ先生方と一緒に和やかな雰囲気の中で炭火焼きの焼肉を楽しみました。
- 11月17日(木), 学生寮において, 寮生が玄関前の花壇の整備を行いました。秋まできれいに花壇を彩っていたポチュラカから, 春まで咲くパンジーに植え替えました。

(詫間)

- 6月28日(火), 学生寮において1年寮生及び2年生以上の希望者約50名を対象に, 食育推進のための講演会を開催しました。講師には, 寮の食事を提供している西洋フード・コンパスグループ株式会社管理栄養士の山岡美智留氏及びB&I中四国第4エリア営業部長の磯辺正人氏を招き, 「健康づくりに重要な食事バランスについて」と題し講演いただきました。栄養バランス, お箸の使い方, ダイエット, サプリメント摂取に関する正しい知識を得ることができました。
- 6月29日(水), 毎年恒例となっている池掃除を実施しました。寮生役員の指導のもと, 1年生男子は寮食堂の隣にある池掃除とごみキャリーの洗浄を女子は花壇の手入れとベランダを清掃しました。1年生は先輩寮生役員に手順を教わりながら一生懸命作業を行いました。大変暑い中ではありましたが, 時には水浴びしながら和気藹々とした雰囲気の中, 1年生及び先輩寮生役員との交流を深めることができました。(図2)
- 4月21日(木), 4月26日(火), 七宝寮において今年度第1回目の勉強会を1, 2年生対象に実施しました。寮の自習時間である午後8時に第一集会室に集まって, 寮生同士互いに教えあいながら約1時間学習しました。また, 今回は勉強会の後, 「たばこの害や未成年の酒による体への影響」に関するDVDを視聴し, 寮務主事から自分の体は自分で守るようにとのアドバイスがありました。この勉強会は1, 2年生を対象に今後週1回程度行う予定です。



図1 花壇整備 (高松)

図2 泉水清掃 (詫間)

1.2 教育・研究活動

1.2.1 平成23年度香川高専FD・SD研修会を開催

7月26日(火)、綾歌総合文化会館アイレックスにおいて教職員181名が参加し、「平成23年度香川高専FD・SD研修会―香川高専のプレゼンス向上施策―」を開催しました。

午前中は、嘉門校長から今回の研修会の趣旨説明に始まり、福永教務主事から「基礎教育の底上げ対策の徹底」、平岡教務主事から「入学志願者確保戦略の共有」の2題の話題提供があり、香川高専における検討課題や問題提起が行われました。

午後は、3つの分科会に別れ、第1分科会「国際交流の現状と将来」、第2分科会「社会連携の今後の取組」、第3分科会「教職員の業務負担軽減措置」により討議が行われました。続いて、各分科会報告と全体討議を行い、質疑応答を行いました。最後に、嘉門校長から「香川高専のいろいろな課題に対して実態を把握し、全教職員が共有し議論していき、香川高専のあるべき姿を追求していきたい」と総括があり閉会しました。



図1 FD・SD研修会

1.2.2 SPOD 学内研修「ティーチング・ポートフォリオ入門」を開催

7月29日(金)、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)の学内研修として、徳島大学大学開放実践センターの香川順子准教授を講師に招いて「ティーチング・ポートフォリオ入門」を開催しました。

研修では、「ティーチング・ポートフォリオ(TP)とは?」、「TP作成ワークショップの概要」等について香川先生から説明していただきました。その後、「私の教育理念」というテーマで、参加者一人ひとりに日頃の教育に当たって実践している事項を用紙に記入してもらい、それをもとに2名1組になってディスカッションを行いました。

参加者のほとんどがティーチング・ポートフォリオに関する説明を聞くのははじめてでしたので、今回の研修はティーチング・ポートフォリオの概要を知るのに非常に有意義でした。



図1 ディスカッション

1.2.3 第2回 橋の老朽化対策研究会，橋の老朽化対策に関する講演会を開催

8月1日（月），午後1時30分から高松キャンパスにおいて，「第2回橋の老朽化対策研究会」を開催しました。本研究会は市町村が管理する橋梁の老朽化問題に取り組む目的で設立され，全国11高専の建設系教員が参加しています。今回の研究会には，高専機構から五十嵐理事と京兼理事が，また技術協定を締結している独立行政法人土木研究所の他に早稲田大学，長岡技術科学大学，国土交通省四国地方整備局からも研究者・技術者が参加し，研究会メンバー9高専15教員とともに活動紹介や意見交換を活発に行いました。

研究会に引き続き，午後3時から「橋の老朽化対策に関する講演会」を開催しました。講演会には，研究会参加者の他に本校産業技術振興会，技術士会，コンサルタント協会から合計約100名の研究者・技術者が参加し，独立行政法人土木研究所の桑原徹郎橋梁構造研究グループ長，実践的橋梁維持管理客員教授の鈴木智郎氏，早稲田大学の依田照彦教授による講演をいただきました。



図1 研究会



図2 講演会

1.2.4 専攻科電気情報工学コースで英語専門授業を実施

9月13日（火）～22日（木），カイロ大学理学部数学科講師・Dr. Tamer Hashem Farag氏を客員准教授として招聘し，専攻科電気情報工学コースにおける通信システム工学を英語専門授業として実施しました。また，当授業は遠隔講義システムを用いて詫間キャンパスにおいても聴講されました。講義では，無線通信技術について学ぶとともに，中東近辺における情報通信ネットワークの現状についてご紹介していただきました。質問や課題提出も英語によるものでしたが，多くの学生が積極的に取り組み，講師から高い評価を得ることが出来ました。



図1 講義



図2 交流

1.2.5 第2回香川高専発明コンテストを開催

9月29日(木)、高松キャンパス イノベーションホール(図書館棟3F)にて、第2回香川高等専門学校発明コンテスト発表審査会を開催いたしました。

発表審査会には、両キャンパス45件の応募作品の中から書類審査により選ばれた7件の作品が進出し、趣向を凝らしたスライドで、自分達の発明品のプレゼンを行い、選考の結果、次の受賞作品を選出しました。

表彰式は、10月13日(木)に校長室で開催し、嘉門校長より各賞の受賞者へ賞状及び記念品が贈呈され、その後、講評をしていただきました。

- ・パテントコンテスト推薦賞(最優秀賞)

乙武 秀二郎(機械工学科5年) : 「トマト収穫ロボットのロボットハンド」

野崎 賢三(制御情報工学科5年) : 「静音黒板消しクリーナー」

- ・香川高等専門学校長賞(優秀賞)

岡田 拓記(機械工学科1年) : 「測って切れるテープカッター」

- ・地域イノベーションセンター長賞(アイデア賞)

佐々木 将太(機械工学科5年) : 「寿命判別機能付きUSB」

- ・香川高等専門学校産業技術振興会長賞(技術賞)

藤川 貴広, 森本 貴也, 下川 一幸(制御情報工学科5年) : 「後付け注ぎ口」



図1 表彰式

1.2.6 女子学生向けのキャリア支援講座を開催

10月13日(木)、女子学生(1年生から専攻科)に対しキャリア支援講座を開催し、一般教育科(詫間)・内田由理子先生から「あなたのみらいは… ～輝く女性エンジニアになるために～」と題してご講演いただきました。講演は、内田先生ご自身が主催して実施された全国高専女子卒業生に対するアンケート結果をもとに、女性技術者(高専卒業生)の実態(就職・再就職・離職)や業界別取得資格、キャリア形成の実例についてなど、女子学生にとって有用な内容となりました。

参加した学生たちも真剣・神妙な態度で講演に耳を傾けておりました。本講演を前向きにとらえ、女子学生の将来の選択に活かしてほしいと強く感じました。



図1 キャリア支援講座

1.2.7 英語合宿を実施

1月12日(土)～13日(日)、(株)Mitoyo International Exchange(三豊市高瀬町)において英語合宿を実施しました。

今回は両キャンパス合同で初めて開催し、高松キャンパスからは1年生の7名、詫間キャンパスからは2年生と4年生の4名、合計11名が参加しました。参加者は「料理を英語でつくろう」をメインテーマに、カレー、スープ、タコス等を英語で会話をしながら料理をしたり、レゴ・ブロックやテレビゲームを教材にした英語授業を受講しました。

また、12日夜には、国際ビジネスの場で活躍している企業の代表を招いて講義も行われました。日本語禁止の環境の中、参加者は精一杯の英語と身振り手振りを用いて、一生懸命に授業や料理づくりに取り組み、英語で伝えることの難しさと、伝わったときの喜びを学び取りました。



図1 料理を英語でつくろう



図2 参加者

1.2.8 面接実技研修を実施

1月13日(金)、28日(土)、29日(日)の3日間、高松キャンパスにおいて、4年生・専攻科1年生を対象とした就職面接実技研修を実施しました。13日は多目的A室にて全体ガイダンス、28日・29日の両日は面接官を目の前に本番さながら面接実技となりました。学生の皆さんは緊張感をもって実技研修に臨んでおりました。面接官役の外部講師や教員からの難問・奇問にも精一杯答えようとする姿が印象的でした。また、面接終了後の細かいチェックにも熱心に耳を傾けていました。

1月14日(土)、15日(日)、詫間キャンパスにおいて、面接実技指導を実施しました。

当日は、株式会社山崎総合研究所 代表取締役 山崎純一氏を講師に招き、本科第4学年の学生及び専攻科第1学年の学生、約100名を対象に行われました。

講師の山崎氏は、今春からスタートする就職試験に向けて、特に面接試験に関する実技指導を、自身の豊富な民間企業体験に基づいて、面接の心構え等について、身振り手振りで細部にわたり厳しく指導していました。

ある学生は、講師による模擬面接試験で、予想外の質問に戸惑い、つい口をつぐんでしまうような場面もありましたが、それでも学生たちは、真剣に指導を受けていました。

実技指導終了後は、講師と関係教員による反省会を行い、今後の就職指導に大変有意義なものとなりました。

1.2.9 技術サロン「技術者・技術士を目指す女子学生向け懇話会」を開催

1月14日(土),女子学生のキャリア支援として,技術士という資格に興味関心を持ってもらい,将来のキャリア形成,技術士の働き方への理解を促すためのイベントを開催しました。講師は日本技術士会の電子系,情報系,建設系の方々4名です。サロンでは,技術士とはどのような資格なのか,目指す業界に女性技術者はどの程度いるのか,どのような勉強をしたらいいのか,働くとはどういうことかなど,女子学生たちの疑問,質問に女性技術士たちが答えながら交流しました。

懇話会には,女子学生だけでなく一般社会人の方々も出席して頂き,大変有意義なものとなりました。



図1 女子学生向け懇話会

1.2.10 長岡技術科学大学 戦略的技術者育成アドバンストコース説明会を開催

1月23日(月),24日(火),長岡技術科学大学 武田雅敏機械系准教授をお招きし,詫間・高松キャンパスにおいて,戦略的技術者育成アドバンストコース説明会を開催しました。

高専学生や技術者を取り巻く現在の日本の状況,社会や経済の動向変化について,また,実践力,国際性,リーダーシップを兼ね備えた技術者として十分に力を発揮するためのアドバンストコース概要について説明していただきました。高専4年生から始まる6年間の教育プログラムや科目内容について紹介していただき,学生からの質問にもお答えいただきました。

進学希望者にとって,卒業後の進路や将来の自身の姿について具体的にイメージすることのできる内容の説明会となりました。



図1 アドバンストコース説明会

1.2.11 知的財産に関する講習会を開催

1月26日(木)、詫間キャンパスにおいて知財講演会「ゼロから学べる知的財産～高専教職員が知っておきたい知的財産の基礎から応用～」が山口大学教授佐田洋一郎氏を講師に招いて開催されました。三豊市内中小企業の技術者・経営者6名の参加頂き、また専門学科教員を中心に教職員約40名が聴講しました。どちらかという敷居の高い知的財産の基礎知識と知財戦略の重要性を実物を見ながらわかりやすく説明して頂きました。また元特許庁審査官としてのノウハウも教えて頂き大変有意義な講演会となりました。

この講演会を機会に学生、高専教職員、中小企業から見た知財戦略の考え方を定期的に行い知財に対する理解を深めて行くようにしたいと考えています。

2月28日(火)、高松キャンパス地域イノベーションホールにおいて知的財産講演会を開催いたしました。本講演会は、本校地域イノベーションセンターと四国地区高専地域イノベーションセンターとの共催事業で、講師に山口大学教授 産学公連携・イノベーション推進機構 知財部門長 佐田洋一郎先生をお招きして開催いたしました。

講師の佐田先生は、元特許庁審判部部門長で、山口大学に移られてからは大学の知的財産部門において、特許出願の相談や知財に関する契約業務を推進されるほか、学生の知財教育にも熱心に取り組まれておられる先生です。

本講演会は2部に分かれて行い、第1部では本キャンパス教職員を対象に、「高専教職員が知っておきたい知的財産取扱いの注意点」と題し、教員研究現場での知的財産権に対する見落としがちな注意点や役割など詳しく説明いただきました。第2部では本キャンパス3年生を対象に「高専学生として知っておきたい知的財産の基礎知識」と題し、知的財産制度の意味やその意義についてわかりやすく説明いただきました。

両講演とも、豊富な話題と事例に基づいたわかりやすい講演で受講者の皆さんは熱心に話を聞いていました。

1.2.12 水環境保全に関するスプリングセミナーを開催

3月21日(水)、22日(木)、水環境保全に興味・関心のある四国内の高専の学生(阿南、高知、香川で19名の学生参加)を対象に、さぬきうどんで有名な香川県における水環境の問題について、見学や調査・実験をまじえたセミナーを開催しました。初日は手打うどんの体験や、今年4月から施行されるうどん店も規制対象となる条例改正に関する講義、うどん排水浄化の実験等を行いました。2日目は日プラ株式会社におけるアクリル水槽の製作や、日本一高所にある新屋島水族館における水の浄化と循環、午後からは独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎において閉鎖循環飼育などを学び、貴重な水資源の浄化・リサイクルについて学びました。



図1 うどん体験



図2 講義

1.3 産学連携・地域連携

1.3.1 香川高専産業技術振興会の主な活動

○香川高専産業技術振興会「総会」「講演会」「交流会」を開催

香川高等専門学校産業技術振興会発足より2年が経過し、9月15日(木)、リーガホテルゼスト高松にて、第2回総会を開催しました。総会には、法人会員、個人会員及び香川高専教職員を含めて総勢58名が参加し、平田会長(株式会社ヒューテック相談役)及び嘉門校長(香川高専)の挨拶の後、第2事業年度の事業報告・会計報告および第3事業年度の事業計画・予算が提案され、承認を受けました。

総会に引き続き、嘉門校長による「地盤環境と有害物質」と題した講演会が開催されました。その後、会場を移しての会員企業間や教職員との交流会には45名の参加者があり、和やかな雰囲気の中での懇親、交流がはかられました。



図1 総会



図2 講演会

○会員企業見学会を開催

教職員が、振興会会員企業をより深く知り理解する試みとして、会員企業への見学会を開催しました。

- ・8月24日(水) アオイ電子(株)本社・工場, (株)ヒューテック本社・工場
- ・3月23日(金) 東洋炭素(株)詫間事業所, (株)石垣 坂出工場

○先進地見学を開催

会員企業等が地域産業と高専の連携事例を見学し、地域産業の発展と高専教育研究の振興の参考とすることを目的に開催しました。

- ・8月29日(月) 阿南工業高等専門学校, 日亜化学工業(株)

○イブニングセミナーを開催

教員と振興会会員との産学連携の機会づくりのため、会員企業の方々とニーズ・シーズを含めた情報交換会を開催しました。

- ・機械系(産業・工業部門, 素材・加工部門, 振動・制御部門) 6月8日(水), 1月25日(水)
- ・建設系(建設・構造部門, 環境・防災部門) 9月28日(水), 11月30日(水)



図3 会員企業見学会



図4 イブニングセミナー

1.3.2 産学官連携推進会議を開催

香川県、三豊市及び香川銀行との連携協定に基づき、次の会議を開催しました。

① 三豊市・香川高専連携協力推進会議

5月24日（火）、詫間キャンパス第2講義棟第4講義室において、三豊市と香川高専の連携協力推進会議を開催しました。

最初に平成22年度に行われた三豊市との連携協力事業（1.理科離れ対策 2.地域活動への参加 3.高齢者対策 4.産業振興支援・業務支援）について、充実した事業を展開し、着実な成果をあげていることが香川高専より報告されました。

次に平成23年度の事業計画を発表し事業計画に対して、三豊市から非常に有意義な内容であり、推進してほしいとの発言があり、三豊市との連携協力事業を、より一層推進していくことを確認しました。

日 時 平成23年5月24日（火）15:00～16:20

出席者 三豊市：横山市長，森教育部長，小野政策部長外

本 校：嘉門校長，高木副校長，三崎センター長，加藤事務部長外

議 題 (1) 平成22年度事業報告について

(2) 平成23年度事業計画（案）について

② 香川銀行・香川高専連携協力協議会

6月15日（水）、香川高専詫間キャンパスで平成23年度香川銀行・香川高専連携協力協議会を開催しました。会議では、平成23年度活動方針や新たな取組について、活発な意見交換が行われ、具体的な活動実施に向けて担当者間で検討を進めることを確認しました。

日 時 平成23年6月15日（水）15:30～16:45

出席者 香川銀行：眞鍋常務取締役，三好営業店統括部部長，高橋営業店統括部部長代理外

本 校：嘉門校長，高木副校長，橋本副校長，三崎センター長，岩田センター長外

議 題 (1) 香川銀行平成22年度活動報告について

(2) 香川高専平成22年度活動報告・方針について

(3) 香川銀行平成23年度活動方針について

(4) 香川高専平成23年度産学官連携活動方針について



図1 三豊市との連携協力推進会議



図2 香川銀行との連携協力協議会

1.3.3 次世代ものづくり担い手のための基礎技術力養成研修を開催

高松キャンパスでは、8月2日(火)～9日(火)の6日間、(公財)かがわ産業支援財団とともに「次世代ものづくり担い手のための基礎技術力養成研修」(機械設計コース)を開催しました。

このコースは”鍛えよう、技術体力@香川高専”をキャッチフレーズにして、地域企業の若手技術者の方に、最新技術や先端技術の習得・活用に不可欠な「強固な基礎技術力」の学び直しの機会を、香川高専をはじめとする講師陣が事例を交えながら提供するというもので、県内企業から定員10名の若手技術者が受講しました。

プログラム内では、本校機械工学科と機械電子工学科の14名の教員が基礎科目について講義と演習を指導しました。また、(株)レクザムの住田副社長と(株)カワニシの原田開発部長より、若手技術者に期待することなどについてそれぞれの立場で講演をいただきました。さらに、(株)テクノインテグレーションの出川社長にも、産業活力とマインドについて講演いただきました。

最終日には川之江造機(株)とJR四国多度津工場の企業見学を行い、全課程を修了しました。

詫間キャンパスでは、8月1日(月)～9日(火)の6日間、「次世代ものづくり担い手のための基礎技術力養成研修」(電子技術コース)を開催しました。

電子技術コースでは「初心者のための実践プログラミング」として「C言語でロボットやPICマイコンを制御しよう!」をテーマに受講者10名の方々がプログラムの基礎からプログラム実習、マイコンのデータ入出力制御プログラミングなど多彩な講義に取り組みました。

また、講義・実習のほか(社)首都圏産業活性化協会(TAMA協会)事務局長岡崎英人氏による講演「中小企業における技術開発と事業化」、オリエンタルモーター(株)の企業見学会も行われました。

1.3.4 四国地区高専シーズ発表会(情報・制御分野)を開催

8月25日(木)、香川高専詫間キャンパスにおいて、四国地区高専シーズ発表会(情報・制御分野)を開催しました。一般講演Ⅰでは、情報・制御分野の3件、一般講演Ⅱでは、香川高専の3件のシーズ発表を行いました。

発表後は、企業関係者を含む参加者間で活発な情報交換があり、今後の企業との連携に向けて良好な展望が期待されました。

また、特別基調講演では、「福島第一原子力発電所事故を巡る技術者の『危機意識』と『人間力』」と題して、元(株)東芝原子力事業部、福島第一原子力発電所3,5号機の基本設計を担当された沼津工業高等専門学校 渡辺敦雄特任教授 に講演いただきました。

<四国地区高専シーズ発表会>

- 8/23 電気・電子分野 (新居浜高専)
- 8/25 情報・制御分野 (香川高専)
- 8/26 物質・化学分野 (高知高専)
- 8/29 機械, 商船分野 (弓削商船高専)
- 8/30 環境・土木・建築分野 (阿南高専)



図1 シーズ発表会

1.3.5 徳島・香川トモニ市場一周年記念マルシェ，三豊市物産PRに協力

10月22日（土）・23日（日），午前11時～午後5時にJR有楽町駅前東京交通会館前1階ピロティにおいてお茶サービスロボット「みっちゃん・とよさん」が三豊市高瀬町のおいしい冷茶をお接待し三豊市と三豊市の物産PRを行いました。

22日（土）の午前中はあいにくの雨で人通りもまばらでしたが，午後は雨も上がり多くの人に三豊市の物産を購入して頂きました。23日（日）は午前中から晴天に恵まれ気温も上がり「みっちゃん・とよさん」のおいしい冷茶を多くの人に味わって頂きました。



図1 徳島・香川トモニ市場一周年記念マルシェ

1.3.6 現代GP・大学教育推進プログラム最終報告会「学生主体の「ものづくり」による学生教育から地域連携・シーズ創出へ」を開催

3月22日（木），香川高専詫間キャンパスで，現代GP・大学教育推進プログラム最終報告会「学生主体の「ものづくり」による学生教育から地域連携・シーズ創出へ」を開催しました。

第1部では，記念講演として豊橋技術科学大学准教授中森康之先生，首都圏産業活性化協会（TAMA協会）岡崎英人事務局長を講師に招き講演頂きました。第2部では学生・教職員の事例発表として，ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞のプロコン「MINAMO STYLEー水面流ー」，ロボコンを含む計11件の発表がありました。

地域の中小企業からの参加者も多く，Coffee Break や情報交換会では，学生・教職員の展示物の説明や実演について活発な質疑応答があり，盛況の内に幕が閉じられ，本プログラムの最後を飾るにふさわしい有意義な報告会となりました。



図1 現代GP 最終報告会

1.4 国際交流

1.4.1 環境地盤工学に関する国際シンポジウム GEE2011 を開催

5月21日（土）～22日（日）、香川高専高松キャンパスにおいて「環境地盤工学に関する国際シンポジウム Geo-Environmental Engineering 2011 (GEE2011)」を開催しました。

本シンポジウムは、地盤環境工学や地盤工学分野におけるジオシンセティックスの利用に関する最新の研究成果の発表と研究者の交流を目的としており、2001年から日本・韓国・フランス・カナダを中心とした国際シンポジウムとして発展してきたものです。今回が第10回の記念開催となり、香川高等専門学校、京都大学大学院地球環境学堂、ソウル国立大学（韓国）、ジョセフ・フーリエ大学（フランス）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）の共催で開催されました。東日本大震災の影響と福島第一原発の放射能汚染により国内外からの参加者が激減しましたが、世界10ヶ国から約60名の参加者がありました。実行委員長である嘉門雅史校長の開会講演においては、東日本大震災で亡くなられた2万人を超える犠牲者に参加者一同が黙祷を捧げました。これに続き、環境地盤工学を中心とする汚染土壌の修復、廃棄物処分場、ジオシンセティックス、廃棄物の再利用と地盤改良などのテーマに関する30編の論文発表が行われ、そのうち2編は明石高専と香川高専の専攻科生が行いました。また、シンポジウム2日目のテクニカルツアーでは参加者36名が豊島に渡り、不法投棄された廃棄物の処分事業を見学しました。



図1 Geo-Environmental Engineering 2011 (GEE2011)

1.4.2 東洋未来大学との学術交流協定に伴う国際交流事業を実施

平成23年7月12日（火）から7月14日（木）まで、学術交流協定を結んでいる韓国の東洋未来大学から学生6名、引率教員2名が本校を訪れました。これまで両校は隔年で訪問を継続しており、東洋未来大学が香川高専を訪問するのは今回が3回目です。12日には学術交流協定書更新の調印式が執り行なわれ、式には、本校嘉門校長と東洋未来大学学長代理として李情報電子工学科学科長が出席しました。

また、滞在期間中は詫間ならびに高松キャンパスの施設見学、日本文化体験や電子回路作成などの授業が行われ、12日のワークショップでは韓国と本校専攻科の学生たちが日頃の研究成果を披露しました。さらに、四国計測工業株式会社様、株式会社レグザム様のご協力により、日本の最新技術を取り入れた生産現場も視察することができました。

1.4.3 学生の海外研修等報告会を開催

10月31日（月），高松キャンパスにて学生の海外研修等報告会を開催し，6名の学生から報告がありました。本科生からは，本年8月に米国セントピーターズバーグ市へ高松市の親善大使として派遣された電気情報工学科2年の近藤芙美さんと，韓国で開催されたアジアン・サイセンス・キャンプに参加した建設環境工学科5年の村上睦実さんから話題提供がありました。専攻科創造工学専攻2年の裏山昌平さんと宮岡佑馬さんから，国際会議での論文発表や学术交流校との学生交流についてそれぞれ体験談が披露されました。また，マラ工科大学（マレーシア）から専攻科特別聴講生として在籍したファティハさんとハニスさんから，本年7月～10月に（株）四電技術コンサルタントで経験したインターシップについて報告がありました。学生の活き活きとした発表に80余名の聴講者は聴き入り，本校学生の国際交流活動の充実がみられる報告会となりました。



図1 学生の海外研修等報告会

1.4.4 マラ工科大学留学生の国際学生交流プログラム修了式を挙

11月7日（月），高松キャンパスで国際学生交流プログラムの修了式を挙りました。本校と学术交流協定を締結しているマラ工科大学（マレーシア）との学生交流の一環で，本年7月から10月の4ヶ月間，特別聴講学生として2名の留学生を受け入れました。プログラム参加学生は，（株）四電技術コンサルタントでインターシップを体験するとともに建設環境工学科での環境工学と地盤工学に関連した調査研究や日本語学習などに取り組みました。プログラム修了式では，嘉門雅史校長から2名の留学生に対して修了証書を授与するとともに，積極的な取組姿勢を称える言葉が贈られました。



図1 国際学生交流プログラム修了式

1.4.5 日台青少年シンポジウム 2011 に本校学生が参加

12月10日（土）、11日（日）、台湾台北市にて行われた「Japan-Taiwan Youth Symposium on Environment Maintenance and Human Welfare 2011（日台青少年シンポジウム「環境保全と福祉向上のための研究成果発表と活動実践報告」2011）」にて、高松キャンパス 専攻科創造工学専攻1年 松岡龍司君、松下和朋君、制御情報工学科5年 藤川貴広君、中條文鈴さんの4名が研究発表を行いました。

本シンポジウムは、木更津高専と国立総合大学（台湾）の両校主催で、台湾の大学と協力提携している、木更津、舞鶴、香川、沖縄の4高専と台湾の国立総合大学、国立高雄第一科技大学、正修科技大学、中州科技大学の4校、計8校の学生達が日ごろ行っている環境保全や福祉向上に関する研究・取り組みについて英語で発表を行いました。松岡君、松下君は環境保全部門にて、地熱発電システムに関する設置場所の決定方法や地元住民に対するアンケートに関する発表を行い、藤川君、中條さんは福祉向上部門にて手動式車椅子を自動回転するための後付の装置の開発について発表を行いました。

本シンポジウムへの参加を通して、学生達は勉学に関する知識・経験が得られただけでなく、他高専・台湾の学生と様々な形で文化交流を図ることができ非常に有意義な時間を過ごすことができました。

1.4.6 留学生交流会を開催

6月14日（火）、高松キャンパスに於いて 香川高専「第1回留学生交流会」を開催しました。本校の外国人留学生と地域社会の方々が交流をはかり、相互に理解を深め情報を交換するために開催したものです。この会には、日頃から留学生の地域活動を支援して頂いている香川県総務部国際課、高松市秘書課国際交流室、（財）香川県国際交流協会、（財）高松市国際交流協会、丸亀ユネスコ協会、仏生山国際交流会、ドーナツ会から交流関係者をお招きし、本校からは留学生16名に加えて嘉門校長をはじめ関係教職員ならびにチューターが出席しました。約2時間の交流会は交流団体や留学生の紹介と各国紹介を行い、和やかな雰囲気のもとで情報交換を行いました。9月22日（木）には詫間キャンパスに交流団体をお招きして「第2回留学生交流会」を開催しました。



図1 留学生交流会

1.5 その他

1.5.1 平成23年度香川高等専門学校入学式を挙行

4月5日（火）、綾歌総合文化会館アイレックス大ホールにおいて、香川高等専門学校の第2回入学式を挙行しました。

入学式では、本科生284名、編入学生2名、留学生5名及び専攻科生52名の計343名の名前が一人ずつ読み上げられ、嘉門校長から入学が許可されました。

嘉門校長から「工学基礎をしっかりと身につけて、将来の科学技術を支えるエンジニアとしての実力を獲得してください。」との式辞が述べられた後、三豊市長横山忠始様から祝辞を賜り、その後、本科入学生代表、専攻科入学生代表による宣誓があり、最後に校歌斉唱を行いました。

式には同窓会会長、後援会会長、名誉教授もご臨席いただき、保護者、教職員とともに新入生の新しい門出を祝いました。

なお、開式に先立ち、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により犠牲となられた方々に対して黙祷を行いました。また、入学式会場前において、学生会が東北地方太平洋沖地震被災者に向けた義援金の募金活動を行いました。



図1 嘉門校長式辞

1.5.2 ホームカミングデイを開催

11月5日（土）、6日（日）、学生祭と合わせて第3回ホームカミングデイを開催しました。高松キャンパスでは、卒業生と学校、教職員および学生との交流を深めることを目的として、2年前からホームカミングデイを実施しております。3回目の開催となる今年度は、雨にも関わらず、県内外から200名を越える卒業生が来場されました。武道場には、各学科の展示物や昔の卒業アルバム、クラブのトロフィー等が展示され、来場された卒業生は、当時を思い出されている様子でした。



図1 受付



図2 会場

1.5.3 外部評価委員会を開催

1月26日(木)、外部評価委員会を開催しました。同委員会は、香川高専の一層の発展・充実のため、同校の教育研究活動の在り方について評価及び助言を行い、自己点検評価に関する活動を支援することを目的として年1回開催しているものです。

委員会には、委員として9名の外部有識者を迎え、本校からは嘉門校長をはじめ高松、詫間両キャンパスの副校長、各主事及び学科長ら25名余りが出席しました。

委員会では、昨年度の同委員会の提言に対するその後の対応状況並びに高度化再編後のキャリア教育・就職進学、地域連携・研究協力、国際交流活動及び広報活動の具体的取組み状況と成果について、副校長等が説明しました。

各委員からは、本校の取組みについて貴重な提案や助言及び期待が数多く寄せられました。

1.5.4 平成22年度インターンシップ企業合同説明会及び企業合同面談会を開催

○高松キャンパス

2月17日(金)の3年生対象インターンシップ説明会に続き、2月28日(火)第一体育館においてインターンシップ企業合同説明会と企業合同面談会を開催しました。当日午前中は、香川高専産業技術振興会会員企業(おもに香川県内に本社を持つ企業)がブースを開き、午後からは、おもに香川県外に本社をもつ企業がブースを開いて、学生とのインターンシップや将来の就職をも見据えた面談会を行いました。

説明会および面談会には、寒気の影響を受けた天候に関わらず合計96社(説明会44社、面談会52社)の参加がありました。また、詫間キャンパスからも本科生・専攻科生の参加があり、体育館全体が熱気を帯びていました。企業担当者との面談は、学年や学科・専攻に関わらず学生にとって有意義な経験となりました。なお、インターンシップ企業合同説明会は、香川県、香川高専産業技術振興会との連携のもと開催されました。

○詫間キャンパス

2月29日(水)の4年生及び専攻科1年生対象の県外企業10社による面談会に続き、3月1日(木)第2体育館において、インターンシップ企業合同説明会及び企業合同面談会を開催しました。

当日は、主に香川県の地元企業39社が参加し、午前中は3年生及び専攻科入学予定者を対象にインターンシップ企業合同説明会を、午後からは4年生及び専攻科1年生を対象に、企業合同面談会を開催しました。

開会に当たっては、高木副校長から、参加各企業の関係者に、面談する詫間キャンパスの学生への就職指導等について依頼があり、学生たちへは、今回の面談会等が今後の就職活動に十分役立てるよう激励がありました。

両日とも、閉会予定時刻を過ぎても、熱心に面談をしている学生もあり、この面談会が大変有意義なものとなりました。

1.5.5 創基70周年・高専創立50周年記念事業ホームページを開設

創基70周年・高専創立50周年記念事業ホームページを下記URLのとおり開設しました。

<http://www.kagawa-nct.ac.jp/information/7050/>

香川高専は、平成21年10月に高松高専と詫間電波高専との高度化再編により開校しました。

香川高専は、高度化再編により、高松高専と詫間電波高専の伝統を継承しつつ、更なる発展を目指しています。

ところで、詫間電波高専の前身である詫間電波高等学校、その基となった官立無線電信講習所大阪支所が創設されて以来、平成25年には70周年の節目を迎えることとなります。

また、昭和36年6月に学校教育法の一部改正により高等専門学校制度が創設され、昭和37年に第一期校12校の1校である高松高専が開校して、平成24年には50周年を迎えることとなりました。

については、官立無線電信講習所からの70年間と、高専創立からの50年を振り返るとともに、新たに歩み始めた香川高専の大きな発展の契機とする「香川高専創基70周年・高専創立50周年記念事業」を行うものであります。

記念事業の内容

記念式典

【日 時】平成25年1月26日（土）14:00～14:30

【場 所】サンポートホール高松 大ホール

記念講演

【日 時】平成25年1月26日（土）15:00～16:00

【場 所】サンポートホール高松 大ホール

記念祝賀会

【日 時】平成25年1月26日（土）16:30～18:00

【場 所】全日空ホテルクレメント高松

その他の事業内容

- ◆香川高専記念誌発行
- ◆記念品の作成
- ◆教育研究基金の創設
- ◆記念事業募金

1.5.6 創基70周年・高専創立50周年記念事業香川高専環境整備コンテストの実施

○高松キャンパスの顔として、高専の顔とも言える正面玄関ゾーンの環境整備を行い元気な高専をアピールする。又、旧守衛所を正面玄関ゾーンの環境整備の一環として改修する。

○詫間キャンパスのにぎわい広場として、詫間キャンパスの寮地区の約3,300㎡の更地を整備し、学生の憩いの場を創設する。